

子どもの数が減っている

寄地区の学校のあり方は…

全国的に少子化が進んでいる現在、松田町でも子どもの数が減少しています。

特に寄地区では幼稚園、小・中学校の小規模校化が進んでいることから、今後、学校運営や教育上の問題が生じることが懸念されます。

このため、平成23年4月に寄地区の学校・地域の関係者や保護者を中心とする「寄地区学校あり方検討委員会」を設置し、寄地区の学校のあり方についての検討を進めてきました。

23年度は主に寄地区の学校を取り巻く環境、小規模校のメリット・デメリットについて調査・研究を進めてきました。その概要を報告します。

中間報告 まとまる

寄地区の子どもの取り巻く環境

平成元年以降の寄地区の園児数(寄幼稚園)児童数(寄小学校)と生徒数(寄中学校)の推移をみると、園児数は4年の72人、児童数は7年の271人、生徒数では10年の135人を最高に徐々に減少を続け、28年度には小・中学校とも30人台になることが予測されます(グラフ参照)。

小規模校のメリット・デメリットについて

検討委員会では、ことし1月に小規模校が及ぼす影響について、委員の選出母体である寄地区振興協議会、寄幼稚園、小・中学校PTAとの意見交換会を開催し、関係者の方から意見を聞きました。

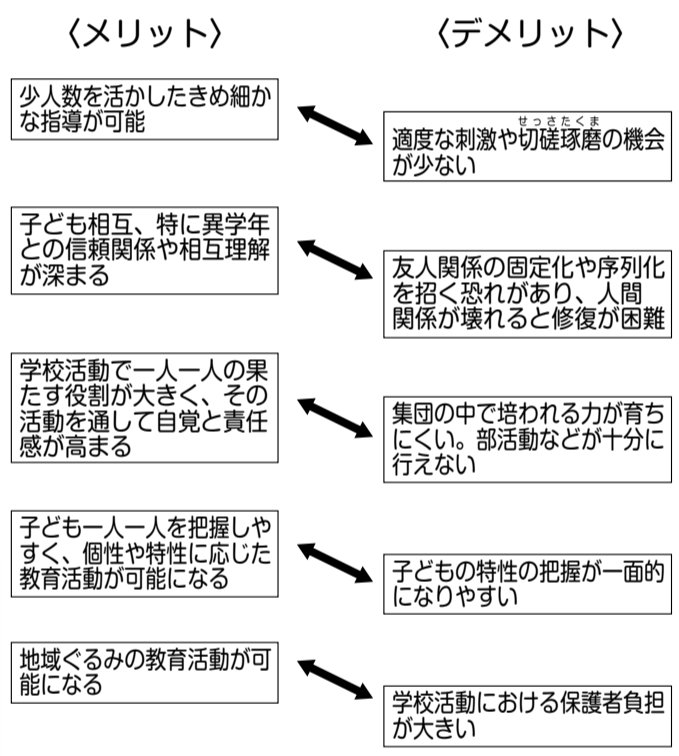
こんな意見が寄せられました

- 「小規模校では団体行動の際に支障が生じる」
- 「少人数では、競争や切磋琢磨の機会が乏しい」
- 「少人数でも、きちんとしたコミュニケーションをはかれる子どもになってほしい」
- 「地域で生活していく上で学校は極めて大きな存在」
- 「これから小・中学校に入学する子どものことを考えて、この問題をとらえるべき」



▲寄小学校の学校生活

小規模校のメリットとデメリット



今後のスケジュール

検討委員会は、23年度の検討を基に、寄地区の住民を対象としたアンケート調査を実施し、24年度中には寄地区の学校の将来的なあり方についての提言をとりまとめ、町に報告する予定です。

第一・第二幼稚園を統合し、新たな民間保育所を開設します

■来年1月をめどに、幼稚園を統合

現在、松田町内には、3つの町立幼稚園(寄幼稚園、第一幼稚園、第二幼稚園)と1つの民間保育所(立花愛児園)が設置されています。本紙、昨年11月号でもお知らせしたとおり、平成25年3月に立花愛児園が閉園となることから、町では新たな保育体制を確保するため、さまざまな調査検討を行ってきました。その結果として、従来から統合の話があった第二幼稚園を第一幼稚園に来年1月をめどに統合し、同年4月には、第二幼稚園の施設を利用して、新たな民間保育所の開設を計画しています。今後、園児が増えることとなる第一幼稚園の増築などを年末に完成するよう工事を進めていく予定です。

■来年4月までに新たな民間保育所を開設します

ことしの4月現在、保育所へ入所している松田町の児童数は68人を数えます。町内唯一の保育所である立花愛児園にも多くの児童が入所しており、少子化の中でもライフスタイルの変化などから保育へのニーズは高く、来年4月以降、町内に認可保育所が無くなる事態だけは避けなければなりません。今後、新たな保育所を開設するために、この保育所を運営する法人などを公募・選定し、来年1月から3月までの間に現在の第二幼稚園施設を保育所として改修します。

短期間での事業となりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



▲保育所へ改修予定の第二幼稚園

【問い合わせ】
 教育課 学校教育係
 健康福祉課 子育て支援係
 ☎(83)7023
 ☎(83)1226